

別府大学 学士課程教育に関する3つのポリシー

別府大学は、学士課程教育の充実、教育の質の維持・向上を目的として、建学の精神や教育目的を基礎に、各学部・学科の「3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)」を定めています。別府大学は、この方針に基づいて教育の充実を図るとともに、学生の学びの内容と水準を維持・向上させていきます。

1. ディプロマ・ポリシー

【文学部国際言語・文化学科のディプロマ・ポリシー】

文学、言語、芸術の分野に関する学問を修め、教養及び専門に関する所定の単位を修得し、次の要件を満たしたものに学位を授与する。

- (1) 各分野の専門的な知識と技能、幅広い学問的教養を習得している。(知識・技能)
- (2) 学んだ知識から課題を見出し、それを的確に考察し、表現できる力または習得した技能によって作品を創造する意欲と表現力を身につけている。(思考力、表現力、実践力)
- (3) 地域社会や国際社会に対する知的関心や理解力を持ち、習得した知識と表現力を通して社会に貢献しようとする意欲と実践力を身につけている。(社会的汎用力)
- (4) 社会生活に必要な倫理観や生活態度及びコミュニケーション能力を身につけている。(社会生活力)

【文学部史学・文化財学科のディプロマ・ポリシー】

歴史学・文化財学の分野に関する学問を修め、教養及び専門に関する所定の単位を修得し、次の要件を満たしたものに学位を授与する。

- (1) 各分野の専門的な知識と技能、幅広い学問的教養を習得している。(知識・技能)
- (2) 歴史と文化財の専門的な知識・技能を実践的に役立てるための思考力・表現力・実践力を身につけている。(思考力、表現力、実践力)
- (3) 日本と世界の歴史・文化を広く深く学び、グローバルかつローカルに考え、社会に貢献できる能力を習得している。(社会的汎用力)
- (4) 社会生活に必要な倫理観や生活態度及びコミュニケーション能力を身につけている。(社会生活力)

【文学部人間関係学科のディプロマ・ポリシー】

心理、社会福祉、教育の分野に関する学問を修め、教養及び専門に関する所定の単位を修得し、次の要件を満たした者に学位を授与する。

- (1) 各分野の専門的な知識と技能、幅広い学問的教養を習得している。(知識・技能)
- (2) 知識・技能を実践的に役立てるための思考力・表現力・実践力を身につけている。(思考力、表現力、実践力)
- (3) 人間関係に関する諸問題を理論的かつ実践的に解決し、社会に貢献できる能力を習得して

- いる。(社会的汎用力)
- (4) 社会生活に必要な倫理観や生活態度及びコミュニケーション能力を身につけている。(社会生活力)

【食物栄養科学部食物栄養学科のディプロマ・ポリシー】

食・栄養・健康に関する学問を修め、教養及び専門に関する所定の単位を修得し、次の要件を満たした者に学位を授与する。

- (1) 食・栄養・健康に関する専門職として必要な基礎知識を有している。(知識・理解)
- (2) 栄養管理・給食管理・栄養教育・栄養指導の基本的な技能を習得している。(技能・表現)
- (3) 食・栄養・健康の専門職として必要な思考力・倫理観を身につけている。(思考・判断)
- (4) 他者と協力して課題を解決しようとする態度を身につけている。(関心・意欲・態度)

【食物栄養科学部発酵食品学科のディプロマ・ポリシー】

醸造発酵やバイオテクノロジーに関する学問を修め、教養及び専門に関する所定の単位を修得し、次の要件を満たした者に学位を授与する。

- (1) 醸造発酵を活用した食品の製造・開発や食品や香粧品の香りに関する専門知識を持ち、食品の生産、製造から販売に至るまでの流通過程を理解している。(知識・理解)
- (2) 醸造発酵や食品の製造・開発に関する技術を身につけ、課題を解決する能力を有している。(技能・表現)
- (3) 食品衛生監視員、食品衛生管理者の有資格者にふさわしい食品、食の安全、食品衛生に必要な思考力・判断力を習得している。(思考・判断)
- (4) 自由な発想力と探究心を持って食品やバイオテクノロジーの研究・開発を遂行することができる。(関心・意欲・態度)

【国際経営学部国際経営学科のディプロマ・ポリシー】

経営管理、会計・税務、観光・地域経営の分野に関する学問を修め、教養及び専門に関する所定の単位を修得し、次の要件を満たした者に学位を授与する。

- (1) 各分野の専門的な知識、国際言語や情報通信技術等の幅広い知識・教養を習得している。(知識・理解)
- (2) 各分野において企画や課題解決のための基礎的能力を有し、適切な手法で的確に表現できる。(技能・表現)
- (3) 論理的に考え、異なる文化や価値観を受け入れ、グローバルな視点から判断することができる。(思考・判断)
- (4) 倫理性と適応能力を備え、他者と協力して課題解決に取り組むことができ、新たな事象や異なる価値観に意欲的に対応できる。(関心・意欲・態度)

2. カリキュラム・ポリシー

【文学部国際言語・文化学科のカリキュラム・ポリシー】

文学、言語、芸術の分野に関し、次のコンセプトのもとにカリキュラムを編成し、実施する。

- (1) 「日本語・日本文学コース」、「英語・英米文学コース」、「国際文化コース」および「芸術」系の諸コースを設け、教養科目・専門科目・キャリア支援科目を開設する。(開設コース・科目)
- (2) 講義系・演習系・実習系の授業を通して、各分野の専門的な知識と技能を教授するとともに、それを社会において実践的に運用できるように、観察力、洞察力、判断力、表現力、実践力を養成する。(知識・技能・思考力・表現力・実践力・社会的汎用力)
- (3) 「副コース制」によって、複数の学問分野にわたる複合的な知識と技能を養成する。(複合的な知識・技能)
- (4) 教職、司書、学芸員の資格取得に必要な理論と実践の専門教育を行う。(免許・資格)
- (5) 4年間一貫した少人数の演習教育を必修とし、きめ細かな学習指導を行い、学科の教育全般を通して、社会性、協調性を陶冶する。(社会生活力)

【文学部史学・文化財学科のカリキュラム・ポリシー】

歴史学・文化財学の分野に関し、次のコンセプトのもとにカリキュラムを編成し、実施する。

- (1) 「世界史コース」、「日本史・アーカイブズコース」、「考古学・文化財科学コース」、「環境歴史学・文化遺産学コース」の4つのコースを設け、教養科目・専門科目・キャリア支援科目を開設する。(開設コース・科目)
- (2) 講義系・演習系・実習系の授業を通して、各分野の専門的な知識と技能を教授するとともに、それを社会において実践的に運用できるように、史資料の収集・分析・プレゼンテーションを通して、観察力、洞察力、判断力、表現力、実践力を養成する。(知識・技能・思考力・表現力・実践力・社会的汎用力)
- (3) 「副コース制」によって、複数のコースにわたる多元的な歴史思考力を養成する。(複合的な知識・技能)
- (4) 教職、司書、学芸員の資格取得に必要な理論と実践の専門教育を行う。(免許・資格)
- (5) 初年時教育を重視し、中核となる演習を1年次より順次生をもってすべての学年に実施し、少人数教育によるきめ細かな学習指導を行い、学科の教育全般を通して、社会性、協調性を陶冶する。(社会生活力)

【文学部人間関係学科のカリキュラム・ポリシー】

心理、社会福祉、教育の分野に関し、次のコンセプトのもとにカリキュラムを編成し、実施する。

- (1) 「心理コース」、「社会福祉コース」、「教育・生涯スポーツコース」を設け、教養科目・専門科目・キャリア支援科目を開設する。(開設コース・科目)
- (2) 講義系・演習系・実習系の授業を通して、各分野の専門的な知識と技能を教授するとともに、それを社会において実践的に運用できるように、観察力、洞察力、判断力、表現力、実

- 践力を養成する。(知識・技能・思考力・表現力・実践力・社会的汎用力)
- (3) 複数の学問分野にわたる複合的な知識と技能を養成するために、専門科目は分野別科目とし、幅広く学ぶことができる。(複合的な知識・技能)
 - (4) 認定心理士、社会福祉士、精神保健福祉士、教員などの資格取得に必要な理論と実践の専門教育を行う。(免許・資格)
 - (5) 4年間一貫した少人数のゼミ教育を必修とし、学生一人ひとりを育て、社会性、協調性を陶冶する。(社会生活力)

【食物栄養科学部食物栄養学科のカリキュラム・ポリシー】

教育目標を達成するため、教養教育・専門教育・キャリア教育が有機的に結びついた体系的なカリキュラムを編成し、実施する。

- (1) カリキュラムは、教養科目、専門基礎科目、専門科目を基本的な構成とする。
- (2) 食・栄養・健康に関する専門的な科目を重視し、栄養の指導による健康の保持・増進、食の安全・食環境の整備、療養のための栄養管理・チーム医療、給食の栄養管理・給食施設の総合マネジメントに必要な専門知識と技術を修得できる科目を設ける。
- (3) カリキュラムの特徴として、管理栄養士国家試験受験資格の修得を重視し、総合演習、臨地実習、特別演習科目を設ける。
- (4) 管理栄養士国家試験受験資格の他に栄養教諭1種免許、栄養士免許、食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格、フードスペシャリスト資格認定試験受験資格、司書資格のための科目をおく。
- (5) 初年次教育を重視するとともに、1年次から4年次まで、課題探求型授業、対話型授業、実践型授業などを計画的に組み入れる。

【食物栄養科学部発酵食品学科のカリキュラム・ポリシー】

教育目標を達成するため、次のコンセプトのもとにカリキュラムを編成し、実施する。

- (1) 醸造発酵学を核とする「食」「健康」「環境」「流通」「香り」に関する知識と技術を習得するための、順次性のある体系的なカリキュラムを編成する。
- (2) 東九州唯一のバイオ系の教育機関として、バイオサイエンスに関する多彩な専門科目を設けると同時に、食に関する充実した教育プログラムを組んでいる。卒業と同時に食品衛生監視員、食品衛生管理者の資格およびフードサイエンティストの資格が取得できる。
- (3) 実社会で活躍するための技能養成を重視し、地域との密接な連携・協力体制の下、食品製造、醸造などの現場を実際に体験できる教育を行う。
- (4) 各学生の学習経歴・将来設計に合わせ、醸造発酵、香料、原材料生産、製造、商品開発、流通、企画販売など食品について多角的に学べるよう、発酵食品コース、食品流通コース、食品香料コースの3つの自由選択コース制を採る。
- (5) 高等学校および中学校の理科教諭一種免許状、学芸員、司書資格、司書教諭免許状が取得できる。

【国際経営学部国際経営学科のカリキュラム・ポリシー】

教育目標を達成するため、教養科目・専門科目を基本的な構成とし、次のコンセプトのもとにカリキュラムを編成し、実施する。

- (1) 初年次から広く自然科学、社会科学の基礎知識を培い、導入演習・基礎演習においてコミュニケーション能力、意欲性を育てるカリキュラムを編成し、実施する。
- (2) グローバル化した社会の経営管理、会計・税務、観光・地域経営分野において創造的、効果的に問題に取り組む力を培うために、国際言語や情報通信技術を含む経済の最新の要請に応えるカリキュラムを編成し、実施する。
- (3) 経営管理分野においては、国際経営に関する科目を学系列に分け、体系的な専門知識修得と研究を奨励する仕組みを構築し、経営課題の解決能力を育てるカリキュラムを編成し、実施する。
- (4) 会計・税務分野においては、国際会計について広い理解を修得しつつ、将来、税理士等の専門職業人として必要とされる専門知識と、資格取得に際して求められる科目修得を可能とするカリキュラムを編成し、実施する。
- (5) 観光・地域経営分野においては、地域づくりをリードする公務員や地域の優良企業の社員として必要な基礎的資質を磨くとともに、歴史・自然・文化などの地域資源のブランド化による観光振興や豊富な自然エネルギーを活用した地域活性化などの問題解決能力を育てるカリキュラムを編成し、実施する。

3. アドミッション・ポリシー

【別府大学のアドミッション・ポリシー】

(1) 教育目的

別府大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法に則り、建学の精神「真理はわれらを自由にする」を基礎にして、深く専門の学芸を教授研究し、もって高い専門能力と広い教養を身につけ、豊かな人間性を備え、進んで社会に貢献しようとする人材を養成するとともに、学術・文化・社会の発展に寄与することを目的とします。

(2) 入学者に求める修学態度

本学及び各学科の教育目的を理解し、目的に描かれた人材に成長するための基礎的な能力・資質を有し、目標に向けて主体的に学び自ら人生を切り開いていこうとする意欲を持った学生を求めます。

(3) 入学者選抜の方法

本学への入学を希望する受験生に対し、本学で学ぶ上で必要な知識・技能、自ら問題の解を見いだしていく思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有しているかどうかを、推薦入試・一般入試・AO 入試等を用い、多面的・総合的に測定・評価し、入学者の選抜を行います。

【文学部国際言語・文化学科のアドミッション・ポリシー】

(1) 学科教育の特色と育成する人材像

国際言語・文化学科には、「日本語・日本文学コース」、「英語・英米文学コース」、「芸術表現コース」という3つのコースがあり、学生は3つのコースから自らの関心に基づいて自由にコースを選び、そして他のコースをも副コースとして選択して学習することができます。また本学科では、国語・英語・美術の教職資格と、図書館司書・学芸員の資格が取得できます。

本学科は、文学、言語、芸術の分野について十分な専門的知識と技能を備え、広い視野から諸問題に対応できる人材、教員や図書館司書のような、将来地域教育・学術文化を担う人材、あるいは将来研究者を目指す人材を育成することを目的とします。

このような本学科の教育目的を理解し、目的に描かれた人材に成長するための基礎的な能力・資質を有し、目標に向けて主体的に学び自ら人生を切り開いていこうとする意欲を持った学生を求めます。

(2) 入学者に求める能力・資質は何か

- ①国語、英語、美術のいずれかについて基礎的な知識・技能を修得している。
- ②自ら問題の解を見いだしていく思考力・判断力・表現力を備えている。
- ③自ら行動し、また他者と協働して学習する態度を身につけている。

(3) 高等学校段階までに培ってきたどのような能力を、どのように評価するのか

- ①国語、英語、美術のいずれかに関する知識・技能の力、及びそれを活用して学問への関心を深めたり、また、作品制作への意欲を高めたりすることができる思考力・判断力・表現力を、一般入試等の学力・実技審査、推薦入試の小論文・実技及びAO入試の課題や口頭試問により測定・評価し、その結果を合否判定に用いる。
- ②主体的に学び、他者と協働して学問探究に臨む態度を、一般入試、推薦入試及びAO入試等における調査書、志望理由書、活動報告書等により測定・評価し、その結果を合否判定に用いる。
- ③学校内外の活動（部活やボランティアなど）における優れた成績や豊かな経験を、推薦入試やAO入試等において、調査書・志望理由書・活動報告書等を基に評価し、その結果を合否判定に用いる。

【文学部史学・文化財学科のアドミッション・ポリシー】

(1) 学科教育の特色と育成する人材像

史学・文化財学科には、「日本史・アーカイブズコース」「世界史コース」「考古学・文化財科学コース」という3つのコースがあり、学生はこの3つのコースから自らの興味・関心に基づいて主コースを選択します。さらに、主コース以外にも興味・関心のあるコースを副コースとして選択して学修することができるため、すべての領域にわたって複数のコースの専門的学問を修得することができます。また、本学科では、中学校社会・高等学校地理歴史及び公民の教職資格、学芸員資格、司書資格、司書教諭資格、文書館専門職（アーキビスト）修了証を取得できます。

史学・文化財学科では、歴史や文化財について広く深く学び、学習した知識・技能を応用して社会に貢献できる人材、また本学科で取得可能な上記の諸資格を活かしてそれぞれの専門分野

で活躍できる人材を育成することを目指します。

このような本学科の教育目的を理解し、目的に描かれた人材に成長するための基礎的な能力・資質を有し、目標に向けて主体的に学び自ら人生を切り開いていこうとする意欲を持った学生を求めます。

(2) 入学者に求める能力・資質は何か

- ①歴史や地理についての基礎的な知識を修得している。
- ②自ら問題の解を見いだしていく思考力、判断力、表現力、探究心を備えている。
- ③自ら行動し、また他者と協働して学習する態度を身につけている。

(3) 高等学校段階までに培ってきたどのような能力を、どのように評価するのか

- ①世界史・日本史・地理に関する知識、及びそれを活用して自ら積極的に考察しそれを分かりやすく伝えることができる思考力、判断力、表現力、探究心を、一般入試等の学力審査、推薦入試の小論文及び AO 入試の課題や口頭試問により測定・評価し、その結果を合否判定に用いる。
- ②主体的に学び、他者と協働して学問探究に臨む態度を、一般入試、推薦入試及び AO 入試等における調査書、志望理由書、活動報告書等により測定・評価し、その結果を合否判定に用いる。
- ③学校内外の活動（部活やボランティアなど）における優れた成績や豊かな経験を、推薦入試や AO 入試等において、調査書・志望理由書・活動報告書等を基に評価し、その結果を合否判定に用いる。

【文学部人間関係学科のアドミッション・ポリシー】

(1) 学科教育の特色と養成する人材像

人間関係学科では、心理、社会福祉、教育、生涯スポーツ分野に関する「心理コース」、「社会福祉コース」、「教育・生涯スポーツコース」において、学際的観点に立ち、これらの諸問題を理論的にかつ実践的に対応できる人材、社会福祉士・精神保健福祉士・教員・認定心理士などの資格を取得し、地域社会の活性化あるいは再生を担うことができる人材を養成することを目的とします。

このような本学科の教育目的を理解し、目的に描かれた人材に成長するための基礎的な能力・資質を有し、目標に向けて主体的に学び自ら人生を切り開いていこうとする意欲を持った学生を求めます。

(2) 入学者に求める能力・資質は何か

- ①心理、社会福祉、教育、生涯スポーツの各分野に関連する科目についての基礎的な知識・技能を修得しており、将来は人間関係学科で学んだことを用いて地域社会に貢献したいという強い意欲を持っている。
- ②自ら問題の解を見いだしていく思考力・判断力・表現力を有している。
- ③自ら行動し、また他者と協働して学習する態度を身につけている。

(3) 高等学校までに培ってきたどのような能力を、どのように評価するのか

- ①社会福祉、心理、生涯教育（スポーツ分野）の基礎となる科目、及び関連科目の知識や技能

を活用し、入学後に自らの希望する専門性を十分に習得できるだけの思考力・判断力・表現力を持っているか、また、身につけた知識・技能を適切に表現できる国語力を持っているかを、一般入試等の学力審査、推薦入試の小論文及び AO 入試の課題や口頭試問により測定・評価し、その結果を合否判定に用いる。

②主体的に学び、他者と協働して学問探求に臨む態度を、一般入試、推薦入試及び AO 入試等における調査書、志望理由書、活動報告書等により測定、評価し、その結果を合否判定に用いる。

③学校内外の活動（部活やボランティアなど）における優れた成績や、自分自身や周囲の人間関係に関する問題点について考え、理解や解決を模索したなどの豊かな経験を持ち、多様な学びを元にさらに探求したいという意志を持っていることを、推薦入試や AO 入試等において、調査書・志望理由書・活動報告書等を基に評価し、その結果を合否判定に用いる。

【食物栄養科学部食物栄養学科のアドミッション・ポリシー】

(1) 学科教育の特色と育成する人材像

食物栄養科学科では、食・栄養・健康の分野に関する専門的知識・技術のみならず、必要な倫理観及び問題解決能力の備わった管理栄養士を育成することを目指します。本学科では、地域と提携した主体的・対話的学習（アクティブラーニング）を授業に取り入れており、学生の実践力を育むことで、食・栄養と健康に関する専門家として地域社会の発展に貢献できる人材を育てています。

このような本学科の教育目的を理解し、目的に描かれた人材に成長するための基礎的な能力・資質を有し、目標に向けて主体的に学び自ら人生を切り開いていこうとする意欲を持った学生を求めます。

(2) 入学者に求める能力・資質は何か

①高等学校教育全科、その中でも国語・英語・理科・数学などについての基礎的な知識・技能を修得している。

②自ら問題の解を見いだしていく思考力・判断力・表現力を備えている。

③自ら行動し、また他者と協働して学習する態度を身につけている。

(3) 高等学校段階までに培ってきたどのような能力を、どのように評価するのか

①国語・英語・理科・数学に関する基礎的な知識や概念を理解する力、及びそれらを活用して、生命科学に関連する現象を考察し、自ら判断・表現する能力を、一般入試等の学力審査、推薦入試の小論文及び AO 入試の課題により測定・評価し、その結果を合否判定に用いる。

②主体的に学び、他者と協働して学問探究に臨む態度を、一般入試、推薦入試及び AO 入試等における調査書、志望理由書、活動報告書等により測定・評価し、その結果を合否判定に用いる。

③学校内外の活動（部活やボランティアなど）における優れた成績や豊かな経験を、推薦入試や AO 入試等において、調査書・志望理由書・活動報告書等を基に評価し、その結果を合否判定に用いる。

【食物栄養学部発酵食品学科のアドミッション・ポリシー】

(1) 大学教育の特色と育成する人材像

本学科は、発酵食品を含む新たな食の開発やバイオサイエンスの学習に向けて強い意欲と科学的探究心があり、地域社会や国際社会で人々の「食とくらし」を支える人材の育成を目指します。

このような本学科の教育目的を理解し、目的に描かれた人材に成長するための基礎的な能力・資質を有し、目標に向けて主体的に学び自ら人生を切り開いていこうとする意欲を持った学生を求めます。

(2) 入学者に求める能力・資質は何か

- ①高等学校で学習する理科の基礎的な知識・技能を有している。
- ②自ら問題の解を見いだしていく思考力・判断力・表現力を有している。
- ③自ら行動し、また他者と協働して学習する態度を身に着けている。

(3) 高等学校段階までに培ってきたどのような能力を、どのように評価するのか

- ①高等学校で学習する理科の知識・技能を基盤とし、それを活用して他者と課題解決に取り組むことができる能力を、一般入試等の学力審査、推薦入試の小論文及び AO 入試の課題や口頭試問により測定・評価し、その結果を合否判定に用いる。
- ②主体的に学び、他者と協働して学問探求に臨む態度を、一般入試、推薦入試及び AO 入試等における調査書、志望理由書、活動報告書等により測定・評価し、その結果を合否判定に用いる。
- ③学校内外の活動（部活やボランティアなど）におけるすぐれた成績や豊かな経験を、推薦入試や AO 入試等において、調査書・志望理由書・活動報告書等を基に評価し、その結果を合否判定に用いる。

【国際経営学部国際経営学科のアドミッション・ポリシー】

(1) 大学教育（学部教育、学科教育）の特色と育成する人材像

国際経営学科には「国際経営コース」、「会計・税理士コース」・「観光・地域経営コース」の3つのコースがあり、それぞれ経営管理、会計・税務、観光・地域経営分野について、言語表現や情報処理技術を含む専門的知識を習得します。そしてこれらを活用し地域の発展のために貢献できる人材を育成することを教育目標とします。

このような本学科の教育目的を理解し、目的に描かれた人材に成長するための基礎的な能力・資質を有し、目標に向けて主体的に学び自ら人生を切り開いていこうとする意欲を持った学生を求めます。

(2) 入学者に求める能力・資質は何か

- ①主に社会科学系の科目において、地域を含めたグローバル社会を理解するための基礎的な知識・技能を習得している。
- ②自ら問題の解を見いだしていく思考力・判断力・表現力を備えている。
- ③自ら行動し、また他者と協働して学習する態度を身につけている。

(3) 高等学校段階までに培ってきたどのような能力を、どのように評価するのか

- ①現代社会、政治・経済等の科目に関する基礎知識を活用して、課題を発見し解決することができる思考力・判断力・表現力を、一般入試等の学力審査、推薦入試及び AO 入試における調査書、志望理由書、活動報告書、取得資格等により測定・評価し、その結果を合否判定に用いる。
- ②主体的に学び、他者と協働して学問探究に臨む態度を、一般入試、推薦入試における調査書、取得資格・免許、及び AO 入試等における調査書、志望理由書、活動報告書等により測定・評価し、その結果を合否判定に用いる。
- ③学校内外の活動（部活やボランティアなど）における優れた成績や豊かな経験を、推薦入試や AO 入試等において、調査書・志望理由書・活動報告書等を基に評価し、その結果を合否判定に用いる。